



平成30年度

住民との協働によるまちづくり

～まちづくりコーディネーターの役割と技術の習得～

地域の魅力を活かし、継続的にまちづくりに取り組んでいくためには、地域をよく知る住民と行政が共に考え、お互いの特性を活かし、協働していくことが重要です。

この研修では、住民との協働によるまちづくりを推進していくために、協働によるまちづくりの具体的手法や、まちづくりをコーディネートするためのスキルなどについて実践的に学びます。

研修の ポイント

- ・協働の意義や課題を学ぶとともに、行政の役割や住民との関わり方を考えます。
- ・「まちづくりコーディネーター」の役割を学び、コーディネーターに求められる様々なスキルの習得を目指します。
- ・実地研修では、実際にまちを歩き、住民の声を聞きながら協働によるまちづくり推進の方策について考えます。

開催要領

日程 **平成30年10月1日(月)～10月5日(金) (5日間)**

場所 **全国市町村国際文化研修所** JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 **住民との協働によるまちづくりなどに携わる市区町村等の職員**
5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 **40人**

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 **研修所宿泊棟(宿泊型研修)** ※外泊はできません。

経費 **15,600円**

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食3回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。(10月4日の昼食は除きます。)
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 **平成30年8月17日(金)まで**

申込方法 **JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」** からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年
10月1日(月)

14:00～15:30 **入寮受付**
16:00～ **開講・入寮オリエンテーション**
17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年
10月
2日(火)

9:25～14:10
講義 住民協働の意味と行政の役割 高崎経済大学地域政策学部 教授 櫻井 常矢 氏

人材育成を軸としたコミュニティ再生や市民協働システム構築に実践的にアプローチするなど、自治体政策の各種アドバイザー等を務めて来られた講師から、行政運営のあらゆる分野で住民と行政の協働が重要である意味と行政の役割について学びます。

14:25～17:00
講義・演習 参加者の主体性を引き出すファシリテーションスキル

一般社団法人 会議ファシリテーター普及協会 代表理事 釘山 健一 氏・副代表理事 小野寺 郷子 氏
欧米からきた一般的なロジカルシンキングをベースにしたファシリテーションは、参加者に「主体性がある」ことをベースに創られています。まずは、自分から発言していく主体性を引き出すことから始める必要があります。参加者の主体性を引き出す「コミュニケーション」をベースにした、既存のファシリテーションとは違ったスキルを学びます。

9:25～12:00
講義・演習 ファシリテーショングラフィック

NPO法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長 三矢 勝司 氏
NPO法人まちの縁側育くみ隊 代表理事 名畑 恵 氏

ファシリテーショングラフィックは、話し合いの流れや内容を可視化することで参加者の情報共有を可能にし、活性化させる効果を持っています。
各地で地域住民を巻き込んだまち育てに携わって来られた講師から、演習を交えてその手法やポイントを学びます。

13:00～14:10
事例紹介 新市庁舎デザインにおける市民ワークショップの活用

氷見市立図書館 館長 鎌仲 里志 氏・氷見市企画政策部地域振興課 主任 坂下 洋昭 氏
廃校となった高校の体育館をリノベーションして市役所の新庁舎とした富山県氷見市。庁舎整備にあたっては、市民の意見を取り入れるために市民と行政が協働で行う「新市庁舎デザインワークショップ」を行い、市民の提案を庁舎デザインに反映させることに成功されました。市民とのワークショップにおける、意見の引き出し方や実際に市民の意見を活かしたポイントなど、当時、庁舎整備担当であった鎌仲氏とワークショップ担当であった坂下氏にお話しいただきます。

14:25～17:00
講義・演習 まちづくりコーディネーター育成研修 「まちづくりコーディネーターの役割」「まちあるきのポイント」

一般財団法人 世田谷トラストまちづくり 地域共生まちづくり課 係長 高橋 誠 氏・松本 伸 氏
「まちづくりとは何か?」「まちづくりコーディネーターの役割とは?」「まちづくりに必要なスキルとは?」等について、事例を交えながらご講義いただきます。その後、翌日のまちあるきに向けての作戦会議に入ります。まちあるきを通じて、まちの魅力(宝物)を地域資源に高めるための「まちづくりのタネ」を見つけだし、まちづくり事業を企画するための準備を行います。

なお、本研修における「まちづくりコーディネーター育成研修」の時間はすべて、東京都世田谷区内で住民参加型まちづくりや人材育成等に努められている、一般財団法人 世田谷トラストまちづくりの講師陣にご指導いただきます。

8:30～13:20
講義・実地研修 「まちあるき」

各グループで役割分担やルート設定を行い、テーマに基づきまちの現状把握をします。まちづくりに活かせる宝物を発見し、地元の方の説明や自らのインタビュー等をふまえ、それらを活かしてどんなまちづくりができるかを現地で描き、グループ内で協議します。

13:20～17:00
講義・演習 「まちあるきのまとめ」「まちづくり計画の作り方」

各グループでまちあるきで発見した宝物について、整理と分析を行います。その後、まちづくりを進める上で問題となる目的や前提条件、予算や参画対象者など様々な要素について学び、事業計画案をグループごとに作成します。

9:25～12:00
講義・演習 「まちづくり事業計画の作成」「全体発表」

前日から進めている事業計画案を完成させ、全体で情報を共有します。受講者同士で相互評価を行うとともに、講師から講評いただきます。

13:00～14:10
講義・演習 「ふりかえり」

研修全体を振り返り、今後の各自治体におけるまちづくりについて考えます。

14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

平成30年
10月
4日(木)

平成30年
10月
5日(金)